

加賀市平成25年度当初予算（案）に

ついて考えてみよう！



当初予算規模は578億3430万円

一般会計
282億9600万円

+

7つの特別会計
196億8270万円

2つの企業会計
98億5560万円

平成25年度の加賀市当初予算は、橋立小中学校整備事業、柴山潟浸水対策事業、山中浄水場及び新規送水管整備事業などの大型事業が平成24年度にほぼ終了したことにより、予算総額が前年比で43億6470万円減少しています。

次に、新年度の「一般会計」についてみていきましょう！

一般会計とは… 市の会計の基本となるものです。

市税収入を主な財源として、福祉の充実や教育・土木など市の基本的な施策に要する経費の合計です。

◎限られた財源（歳入）の中で、加賀市発展のために、

何にお金を使うか

が、加賀市の将来を決めていきます。

それでは・・・

H25年度の「加賀市一般会計」の収入（歳入）はどれくらいでしょうか？

自主財源・・・収入の38.3%しかありません！

主な 内訳	市税	87 億	7620 万	円
	分担金及び負担金	6 億	6942 万	5000 円
	使用料及び手数料	4 億	1846 万	円
	その他	9 億	8225 万	円

ということは・・・

加賀市は収入の6割以上を、国や県からの支援や借金に頼っています。

国が世界一の借金大国となっている現在、

地方として、安定した行政サービスを行っていくために、加賀市は

《財政改革をしっかりと断行していく必要があります。》



「歳入のポイント」

- ・ 自主的財源が多いほど、財政は安定している状況にあり、その市に応じた、自主的な事業を行うことができます。
- ・ 加賀市は、自前の財源の割合が低いので、まちを活性化させるために、特に「定住促進」や「頑張る企業の支援」「そして「企業誘致」に取り組んでいかなければなりません。

○ 加賀市の自主財源(収入)の課題としては

加賀市は、人口減少によって市民税が減少していくことと土地の下落傾向によって固定資産税が減少していくことが、指摘されております。

： 市民税収入が減っていく傾向 :

ということは・・・

今後、ますます、限られた財源を、いかに、市民生活向上のために、「何につかっていくか」の選択がとて重要になってきます！



それでは・・・

新年度の「加賀市一般会計」予算は

どんなことに使われていく予定なのでしょう？

一般会計当初予算の使い途を、2つの視点で見てください

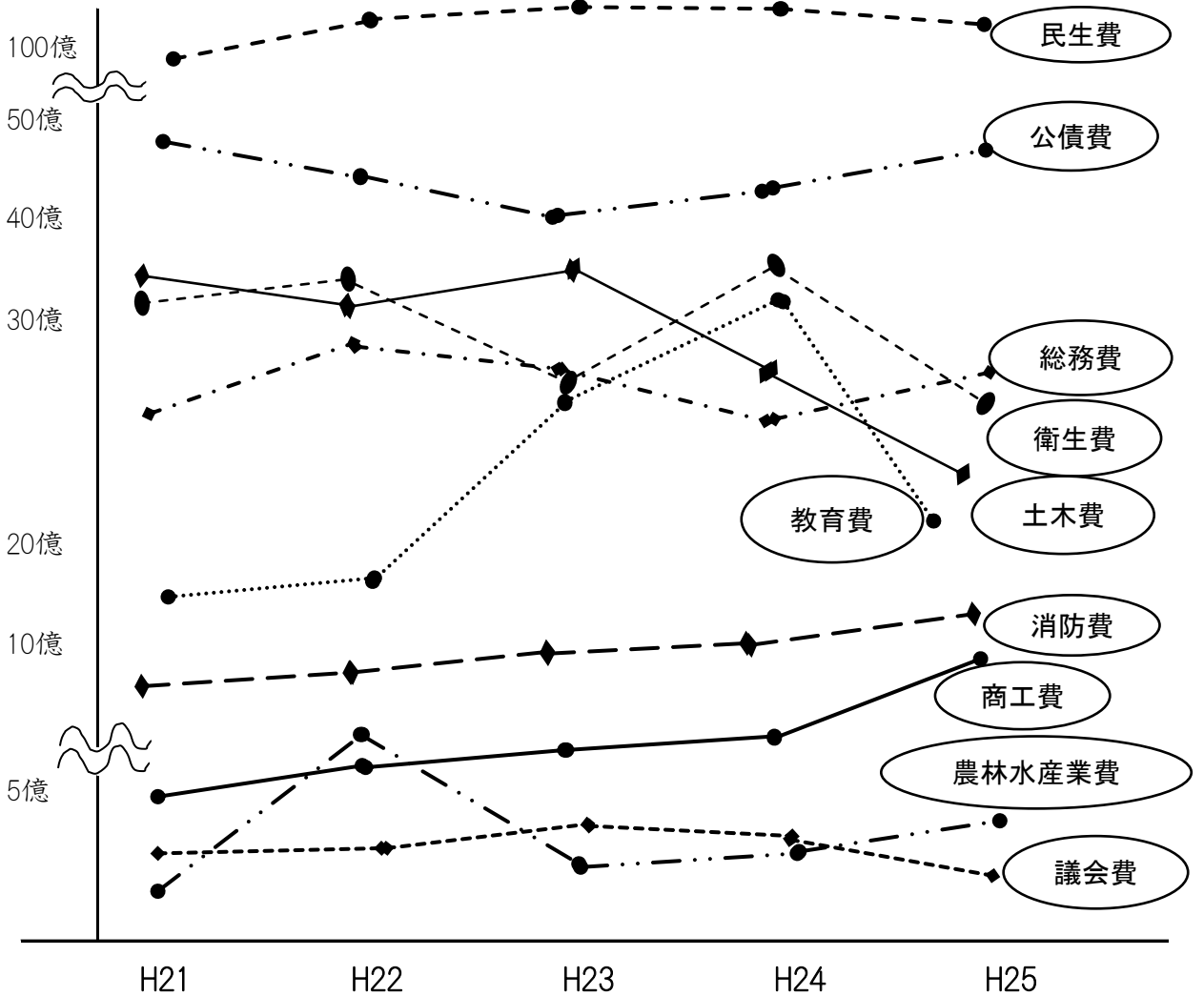
お金の使い方を目的別にみていくと

お金の使い方を性質別にみていくと

福祉関係に (民生費)	112億8360万7000円
借金返済に	38億1355万3000円
総務関係に	28億7365万3000円
ゴミ処理や保健 (衛生費)	27億5246万円
土木関係に	25億9137万5000円
教育に	21億 421万5000円
消防に	12億2490万5000円
観光や企業支援	9億 86万円
農林水産業支援	3億4055万9000円
議会に	2億8862万円
その他	1億2219万3000円

弱者への支援 (扶助費)	66億6582万1000円
市正規職員人件費 (一般会計)	47億7675万3000円
繰出金	42億8642万4000円
物件費	40億5373万8000円
借金返済	38億1336万2000円
普通建設事業	21億8916万7000円
補助費	11億7730万4000円
貸付金	4億9918万円
維持補修費	4億2830万5000円
その他	4億 594万6000円

当初予算で見る「加賀市のお金の使われ方の推移」



先の表やグラフをみてわかるように、加賀市では、少子高齢のため、高齢者や障害者などの福祉関係に、予算の約4割のお金が使われています。

又、毎年の借金の返済に多くのお金が費やされ続けています。

この2つで、全予算の半分以上もの支出となっています。そのため、なかなか他分野にまで、お金のやりくりができない状態になっています。

そこで市としては、社会の変化に応じたメリハリの効いた将来に生きるお金の使い方をしていく必要があります。

そこで・・・

以下のような財政健全化取り組み方針の下、
H25年以降、改革を進めてまいります！

- ① 市が所有する様々な資産を積極的に活用し財源を確保する。
(例：広報やホームページなどの広告事業)
- ② 遊休財産の売却
- ③ 市民負担の公平性の観点から⇒滞納整理の推進、収入率の向上
- ④ 外部委託等の推進による施設管理費及び行政経費の節減
- ⑤ 市職員の業務の質と量に対応した人事配置を進め、人件費を抑制する
- ⑥ 将来の借金返済の軽減のため⇒借金事業を厳選すると、ともに既存施設の施設規模や施設内容の適正化を図る。
- ⑦ 市施設のあり方の見直し
 - ・ 類似施設や老朽施設の複合化や統合

但し、今後も、加賀市にとって必要な、老朽施設については、管理台帳に基づいて計画的な修繕を行い、今ある施設を末永く大切につかっていくように努めてまいります。

室谷 ひろゆき 議会報告

市役所 加賀市大聖寺南町二41 72-7965(代)
住所 加賀市山代温泉14の67 77-7839

2013年
3月号

(討議資料)